



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年1月29日

上場会社名 日本調剤株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3341 URL <https://www.nicho.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三津原 庸介  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 小城 和紀 TEL 03-6810-0800  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	208,337	4.7	5,767	2.4	5,773	5.9	3,410	11.5
2020年3月期第3四半期	199,040	8.5	5,632	28.4	5,449	41.3	3,059	29.1

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 3,427百万円 (11.2%) 2020年3月期第3四半期 3,083百万円 (27.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	113.74	—
2020年3月期第3四半期	102.03	—

(注) 当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	188,723	49,750	26.4
2020年3月期	185,551	47,072	25.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 49,750百万円 2020年3月期 47,072百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2021年3月期	—	12.50	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	12.50	25.00

(注) 1. 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2020年3月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。なお2021年3月期(予想)の配当金については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	275,753	2.7	6,552	△13.7	6,331	△14.5	3,260	△51.3	108.73

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	32,048,000株	2020年3月期	32,048,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	2,061,034株	2020年3月期	2,060,834株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	29,987,066株	2020年3月期3Q	29,987,447株

（注）当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 将来に関する記述等に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現在入手している情報による当社の判断及び仮定に基づく予想であり、リスクや不確実性を含んでいます。また、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因により、これら業績予想等とは大きく異なる結果となる場合があります。

(2) 四半期決算補足説明資料の入手方法

四半期決算補足説明資料についてはTDnetにて適宜開示し、当社ホームページへも掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2020年4月～2020年12月）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が継続する中、国や地方自治体における各種政策の効果等もあり一部では持ち直しの兆しもみられたものの、依然として厳しい状況にありました。

このような経済情勢のもと、当社グループは、地域医療を担う医療機関としての使命を強く認識しながら、調剤薬局各店舗における感染防止対策を徹底し、良質な医療の提供を継続してまいりました。同時に全社を挙げてコスト削減施策も推し進めております。

調剤薬局事業においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、既存店は厳しい状況が継続しておりますが、各店舗及び本支店におけるコスト削減を徹底する一方で、積極的な新規出店による事業拡大に加えて、前期に出店した65店舗についても順調に業績に寄与いたしました。医薬品製造販売事業においては、研究開発による自社製造品目の積極的拡大に加えて、新規薬価収載品の販売も好調であったこと等から、大きく業績を伸ばしました。医療従事者派遣・紹介事業においては、薬剤師派遣の需要が大きく減少する厳しい事業環境の中、かかりつけ薬剤師としての需要が高い紹介事業や、昨年来体制を強化し全国展開を行っている医師の紹介事業の拡大に注力いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高208,337百万円（前年同期比4.7%増）、営業利益5,767百万円（同2.4%増）、経常利益5,773百万円（同5.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益3,410百万円（同11.5%増）となりました。引き続き当社グループは、患者様・お客様に安心してご利用いただくため、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に全力で取り組み、良質な医療を提供してまいります。

セグメント別の経営成績は以下の通りです。

#### ①調剤薬局事業

当第3四半期連結累計期間の売上高は181,125百万円（前年同期比6.1%増）、営業利益は6,991百万円（同6.2%増）となりました。12月末時点での総店舗数は、同期間に25店舗を新規出店、5店舗を閉店した結果670店舗（物販店舗1店舗を含む）となりました。売上高及び営業利益につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響継続による処方箋枚数の減少があった一方で、調剤薬局事業全体でのコスト削減施策の実施、長期処方の増加による処方箋単価の上昇及び前期に出店した65店舗の寄与もあり増収増益となりました。なお、ジェネリック医薬品の数量ベース使用割合は、12月末時点で全社平均89.3%と、全国平均を大きく超える水準となっております。また、在宅医療実施店舗の割合は12月末時点で全社平均89.4%（年間12件以上実施の店舗割合、新規店舗を含む）と順調に推移しております。

#### ②医薬品製造販売事業

当第3四半期連結累計期間の売上高は35,235百万円（前年同期比8.2%増）、営業利益は2,205百万円（同43.7%増）となりました。売上高につきましては、4月の薬価改定に伴う既存製品の販売価格の下落があった一方、2019年12月、2020年6月及び2020年12月の新規薬価収載品の好調な販売等により増収となりました。営業利益につきましては、収益性を重視した販売方針に加えて、新規薬価収載品を含む自社製造品目の販売拡大に伴い利益率が改善したこと等により増益となりました。なお、当第3四半期連結会計期間末での販売品目数は、688品目（一般用医薬品2品目を含む）となっております。

#### ③医療従事者派遣・紹介事業

当第3四半期連結累計期間の売上高は6,644百万円（前年同期比31.8%減）、営業利益は653百万円（同54.7%減）となりました。売上高につきましては、人材市場の需要変化を捉え、薬剤師の派遣から紹介へのシフトを進めておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響による一層の派遣抑制の影響を受け減収となりました。営業利益につきましては、医師及び薬剤師の紹介事業は堅調に推移したものの、薬剤師の派遣事業における減収の影響が大きく減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は188,723百万円となり、前連結会計年度末の185,551百万円に対し、3,171百万円、1.7%増加いたしました。主に、商品及び製品の増加によるものです。

負債合計は138,973百万円となり、前連結会計年度末の138,478百万円に対し、494百万円、0.4%増加いたしました。主に、買掛金の増加によるものです。

純資産合計は49,750百万円となり、前連結会計年度末の47,072百万円に対し、2,677百万円増加いたしました。この結果、自己資本比率は26.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年10月30日付「第2四半期連結業績予想と実績値の差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」において公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年 3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	32,254	30,205
受取手形	181	52
売掛金	20,587	20,810
電子記録債権	1,080	1,010
商品及び製品	22,988	27,611
仕掛品	1,541	1,094
原材料及び貯蔵品	5,431	6,683
その他	3,354	4,960
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	87,414	92,421
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	30,922	29,863
土地	14,653	14,202
建設仮勘定	967	1,354
その他（純額）	19,538	19,193
有形固定資産合計	66,082	64,613
無形固定資産		
のれん	16,994	17,320
その他	2,431	2,229
無形固定資産合計	19,425	19,549
投資その他の資産		
投資有価証券	16	16
敷金及び保証金	7,765	8,242
その他	4,846	3,879
投資その他の資産合計	12,628	12,138
固定資産合計	98,137	96,301
資産合計	185,551	188,723

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年 3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	42,659	48,644
電子記録債務	3,131	4,419
短期借入金	100	—
1年内返済予定の長期借入金	9,406	17,866
未払法人税等	4,132	202
賞与引当金	3,318	1,827
役員賞与引当金	76	—
その他	7,284	7,552
流動負債合計	70,107	80,513
固定負債		
長期借入金	62,963	53,468
役員退職慰労引当金	474	190
退職給付に係る負債	1,957	2,098
その他	2,974	2,701
固定負債合計	68,370	58,459
負債合計	138,478	138,973
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,953	3,953
資本剰余金	10,926	10,926
利益剰余金	35,762	38,423
自己株式	△3,499	△3,499
株主資本合計	47,143	49,803
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	△70	△53
その他の包括利益累計額合計	△70	△53
純資産合計	47,072	49,750
負債純資産合計	185,551	188,723

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年 4月 1 日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年 4月 1 日 至 2020年12月31日)
売上高	199,040	208,337
売上原価	164,688	171,658
売上総利益	34,351	36,679
販売費及び一般管理費	28,719	30,911
営業利益	5,632	5,767
営業外収益		
受取手数料	31	26
受取賃貸料	316	328
受取補償金	80	51
補助金収入	69	223
その他	109	143
営業外収益合計	606	774
営業外費用		
支払利息	281	238
支払手数料	9	10
支払賃借料	251	249
その他	246	269
営業外費用合計	789	768
経常利益	5,449	5,773
特別利益		
固定資産売却益	42	398
事業譲渡益	34	—
特別利益合計	77	398
特別損失		
固定資産廃棄損	—	375
減損損失	349	227
固定資産売却損	1	1
投資有価証券売却損	0	—
特別損失合計	351	603
税金等調整前四半期純利益	5,175	5,568
法人税、住民税及び事業税	1,520	1,235
法人税等調整額	593	922
法人税等合計	2,114	2,157
四半期純利益	3,060	3,410
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,059	3,410

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年 4月 1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年 4月 1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	3,060	3,410
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	—
退職給付に係る調整額	22	16
その他の包括利益合計	22	16
四半期包括利益	3,083	3,427
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,081	3,427
非支配株主に係る四半期包括利益	1	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	調剤薬局 事業	医薬品製造 販売事業	医療従事者 派遣・紹介 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	170,686	18,645	9,708	199,040	—	199,040
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	9	13,919	29	13,957	△13,957	—
計	170,695	32,564	9,737	212,997	△13,957	199,040
セグメント利益又は損失(△)	6,581	1,534	1,442	9,559	△3,927	5,632

(注) セグメント売上高合計及びセグメント利益合計と、四半期連結損益計算書の売上高及び営業利益との調整を行っております。なお、セグメント利益又は損失の調整額△3,927百万円にはセグメント間取引消去△34百万円及び全社費用△3,892百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「調剤薬局事業」セグメントにおいて、店舗資産(3店舗)等の減損損失84百万円を計上しております。また、「医薬品製造販売事業」セグメントにおいて、工場設備の一部について減損損失265百万円を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

「調剤薬局事業」セグメントにおいて、事業譲受及び株式取得等により調剤薬局店舗27店舗を買収しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては5,621百万円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	調剤薬局 事業	医薬品製造 販売事業	医療従事者 派遣・紹介 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	181,125	20,605	6,607	208,337	—	208,337
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	14,629	37	14,666	△14,666	—
計	181,125	35,235	6,644	223,004	△14,666	208,337
セグメント利益又は損失(△)	6,991	2,205	653	9,850	△4,082	5,767

(注) セグメント売上高合計及びセグメント利益合計と、四半期連結損益計算書の売上高及び営業利益との調整を行っております。なお、セグメント利益又は損失の調整額△4,082百万円にはセグメント間取引消去△113百万円及び全社費用△3,969百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「調剤薬局事業」セグメントにおいて、店舗資産(4店舗)等の減損損失227百万円を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。